

問い合わせ殺到、売り上げ急増中!



伸びない会社を
「TV出演」させ
ブランド会社に変える
PR術

企業戦略プロデューサー
株式会社アルトスター代表取締役/CEO

石尾雅子
(ビジネスネーム: さこ)

はじめに

こんにちは!

この本を手にとって下さり、ありがとうございます。

私は約10年前まで、パソコンさえもとに使えない会社員でした。貿易部門の担当として日々、英語をつかって仕事をしていましたが、勤務先である工業用マシンメーカーが繊維不況のあおりを受け、私は希望退職に手をあげることになりました。1999年のことです。

当時の私は36歳で母子家庭の母。まだ男性社会が続く日本では、ただでさえ「女性」というマイノリティな立場のうえ、「残業や土日出勤ができない」「転勤もしづらい」環境です。さらに、日本という国では「転職」に35歳という大きな壁があるわけですから、当時の私は、ハナから再就職活動をあきらめていました。

はじめに

では、退職後は失意の日々だったのか、というと、そうでもありません。実は私にはか

すかな希望があったのです。

それは、退職直前のOL時代に企画した、1999年開催のチャリテイライブで、何度も新聞やFMラジオ、そしてテレビなどに大々的に取り上げられた経験があったからです。

例えば、神戸のFMラジオ局は、30分の生番組を丸々、ド素人の私のために提供して下さいました。出演内容も、「DJのインタビュが少し」といったレベルではなく、当時私が作った（JASRACコードも何もない）「ずぶの素人の自作曲」を公共電波に流し30分丸々を、チャリテイライブの宣伝番組として生放送して下さったのです。

この自作曲は、当時、早朝の人気番組「めざましお天気」でも「BGM」として使われました。アマチュアでは異例中の異例のことです。

きちんと「Sako」という作曲者名と「Tonight Im Yours」というタイトルをテロップで流してくれてのことです！

もしこの曲にご興味がある方は、巻末記載のアルトスターのホームページをご覧ください。

他にも、読売新聞が「大きなカラー写真入りで紙面の1/3枠にて掲載」など、数多くのマスコミが大きく取り上げて下さいました。

結果、私が企画したチャリテイライブには、日本人だけでなく、何人もの外国人アーティストや数多くの協力者が集い、当日の会場は立ち見でいっぱいになるほどの大盛況！

その時の収益金はケニアのストリートチルドレンのための教会施設に寄付をして、とても感謝されました。

その時に感じたこと。

それは、

「こんな無名の私でも、一生懸命頑張れば、マスコミは大きく取り上げてくれる！そして、多くの人が私の活動を知って応援をしてくれる！」
ということでした。

それまでは、家族の間でさえ「みそつかず」で、職場でも格下扱いしかされなかった私が、マスコミに登場し始めた途端に、周囲の見る目が「尊敬」へと変わり、扱われ方も大きく変わったことは、劣等感の固まりだった私の、その後の大きな自信へとつながりました。

そして自信はいつしか確信に変わり、私を起業家として生まれかわらせたのです。

その後、私はベンチャー起業家として、多くの経営者とおつきあいをすることになるわけですが、こういった経験を元に、「クライアントを輝かせたい！ 業績があがるようにしたい！」と、企業戦略プロデュース業を通して彼らの知名度を大きくアップさせ、ひいては マスコミに大きく取上げてもらうという実績を多く作りました。

今ではお陰様で、取引先からのご紹介で新しい取引先を…そして、さらにまた新たなご紹介を得るという、「営業マン不要で次々に仕事が入ってくる」大変ありがたいビジネスをさせて頂いております。

パソコンもろくに使えなかった40歳前のシングルママの「ど素人起業家」が、どうしてこのような順風満帆の状況を得たのか…

それは、私自身が「マスコミ登場し続ける」ことで自らを「ブランディング」することに成功したからです。そして私たちのクライアントは、さらに本格的な「ブランディング」に成功したからです。

つまり、マスコミ登場は今最も注目を浴びている「ブランディング」の究極の手法なのです。

昨今ではコンサルタントや士業の方などは、本を出版したり、セミナー講師をおこなったりなど、様々なブランディング手法にやつきになっていますが、その最たるものが実は、マスコミ登場なのです。

そして実は、私がクライアントをマスコミ登場させるために使ったのは、ほんのちょっとしたノウハウと「ある考え方」だけなのです。そしてそれは、実は、誰にでも簡単にで

きることなのです。

本書では、私がこれまでの経験から培った独自の手法や考え方など、他では得られないエッセンスを満載にしました。

ですから、あなた自身も実際にこの本の内容をもとに実践していただければ、きっと人生やビジネスが見事、成功へと転じていくことでしょう。

石尾 雅子 (さこ)

※「さこ」は「石尾 雅子」のビジネスネームです。

